

平尾商工連合会

どんな商店街？

人口増加の著しい平尾校区内に位置し、西鉄大牟田線平尾駅を中心とした商店街。中央区平尾と南区平和・高宮を商圈とし、来街者は常連の中・高齢者層が中心です。地元自治連合会と連携しており、校区の各種行事に参加しています。商店街のメインストリートである県道桧原比恵線(山荘通り)の拡幅工事に伴う商店の撤退が一番の課題です。地域情報誌の発行やHP更新等を実施しています。

地域密着型 ひら・ぐら Vol.18
フリーペーパー HIRAO・GRAZIE

2025春、発刊決定！

地域情報誌「ひら・ぐら」第18号発行事業

既存会員の帰属意識および満足度の向上と、
地域住民の当会に対する認知度の向上のために

1. 商店街の課題

これまで続いたコロナ禍の影響で、商店街の存在をアピールするイベント等を実施することができず、既存会員の帰属意識、および顧客見込みとなる地域住民に対する認知度が低下傾向です。

2. 地域情報誌「ひら・ぐら」第18号を発行

- 【1】地元の自治連合会(町内会)や小中学校の記事ネタを盛り込みました。
- 【2】冊子の中にお得なクーポンを掲載し、利用者に対して還元しました。
- 【3】冊子発行事業を通して、新たな会員店舗を獲得できたとともに、平尾自治連合会や平尾公民館など地域団体との交流を深めることができました。
- 【4】「地域コミュニティの担い手」として、自治連合会や諸団体を巻き込むことにより、地域活性化に寄与することができました。

3. 効果があったと思われること

- ・掲載店舗の95%以上が満足との回答を得ました
- ・掲載営業の過程で新規会員店舗を5店舗獲得しました



4. 来街者の声・会員さんの声

○来街者の声

- ・平尾の情報が1冊にまとめられているため、とても便利でよく活用している
- ・行ったことがないお店に行くきっかけになるため、今後も毎年発行してほしい

○会員さんの声

- ・新規のお客さんが来店するきっかけになっており、非常にありがたい
- ・好評のため、今後も地域を巻き込みながら継続して欲しい



5. 反省点や今後の取り組み

掲載店舗を募集する際に、非会員店舗にも案内を配布し、入会を促していこうと考えています。また、「平尾プレミアム商品券」事業の際にも、同様に会員数の増を図っています。これらの取り組みにより、自主財源(会費収入)を増やしていくことで、今後の事業実施の財源としていきたいです。